

心を癒やし、地球を癒やす

(113)

魂は一つひとつ厳密に分かれているのではなく、いくつか集まってグループのようになっていて、死後に体を離れるといった自分のグループに還り、そこで混じりあって情報やエネルギーを交換するようです。こういったグループも厳密に分かれているのではなく、エネルギーの近い魂が引きあつていく、というイメージです。

個人という視点から生まれ変わりをみると、それぞれの魂に事情があるのですが、広い視野に立つと、輪廻転生は宇宙のシステムであり、宇宙のエネルギー循環です。肉体をもたない魂だけの生命の活動もあり、魂の活動は広い宇宙の全域でおこなわれている、と私は感じています。ある星を拠点として活動している魂が転生を繰り返すことによって、その星のもつエネルギーも変化していくのでしょう。

地球は、エネルギーが大きく上昇している最中にあると私は感じています。人間もその上昇についていくことになるので、過去生を含め「やり残したこと」をやるような、魂の総集編のような転生も繰り返されていることでしょう。それは個人としては大変なことですが、一人ひとりが昇華していくことで、地球のエネルギーの上昇につながります。

転生においては、つらい体験を昇華しないまま肉体を離れると、

重たい感情はエネルギーが低いので、エネルギーの高い次元にはもっていけず、地上に残ってしまいます。魂の状態からは、「あそこに私の忘れものがある」というふうに見えるので、それを行こうとして再び地上に戻るのです。でも、荷物が重すぎる場合、地上に降りたときに、むしろ新たな荷物をふやしてしまうことがあります。

今の地球は、エネルギーが急激に上昇していて、古くて重いエネルギーまで浮かびやすくなっています。たとえていうと、川の底に沈殿していたものが、表面に浮かんでくるようなものです。

まず自分と向きあい、自分を理解し、自分を受け入れ、自分を愛して、生きる喜びを感じてこの世界を愛していくだけでも、これまでの輪廻転生の忘れものを癒していくことができるでしょう。

愛を胸に、今生を精いっぱい生きる

「痛みや苦しみは、神さまからの呼びかけ。だからよく味わって、苦しむ人たちに共感できる、優しい心を育みなさい。そしてそこから立ち上がり解決法を見つけたら、多くの人を救うことができる。あちらの世界からこの世を見ると、苦しんでいる人たちを助けたと思うもの。そんな願いをもって、あなたは生まれてきたよ。」

いつ病気になるか、いつ死ぬかは、わからない。人生の時間が長いか短いかは、問題でない。死ぬというのは、もとの場所に還

ること。お迎えが来たら、光のほうを向いて天使と一緒にいきなさい。それまで良心に恥じない生き方をしなさい。

地球規模の危機が迫り、日本は国難のまっただ中にあるけれど、一人ひとりが立ち上げれば、きっと世界は救われる。その希望の一人になりなさい」輪廻転生があるということは、努力は必ず報われ、今生で学んだことを未来生につないでいかれるということです。人は「未完成の完成」を求めて、生まれ変わります。そしてこの地上に、みんなが幸せになれる世界を創ろうとしているのです。

収縮と拡大のサイクルから学ぶ

今は、時代の転換期です。核汚染をはじめ環境破壊は深刻で、人類滅亡の危機といわれますが、同時に新しい文明の胎動が始まっています。どちらの道を歩むのか、私たちの選択にかかっているのです。

目先のことに精いっぱい、危機に無関心な人や、見えない世界を信じない人もいます。けれど、相手の幸せを願って伝える努力をすることが、大切なのだと思います。

この困難な時代にもっとも必要なのは、一人ひとりが「魂の感覚」を取り戻すことです。永遠の生命を信じ、すべての命はつながっていることを知ったとき、愛を動機とした真の解決への道が開けるのだと思います。